



# さいじょう 国際交流NEWS



## 第17号

December 2017

目次

ハロウィン報告 1

元ALTのローハン  
さん：推移の術 2

西条市の皆さんに  
届けたいベトナム  
の物語 3

秋のイベント報告 3  
産業祭

**DATES WITH  
DIANA** 4

国際交流INFO 4



さいじょう国際交流NEWS

は年4回西条市国際交流協会事務局によって発行されています。ご質問・ご感想、または掲載してほしい情報がありましたら下記までご連絡ください。

## ハロウィンパーティ2017

トリックオアトリートHappy Halloween!と元気な声が飛び交っている商店街は写真を撮ると、まるで絵本の1ページの様でした。雨の中、仮装をした可愛い子供達で商店街はワイワイと大盛り上がり。

今年のパレードの山車(だし)は千と千尋の神隠しにでてくる「ゆばーば」でした。毎年ボランティアで作成してくれる河端さんはプロ並みです。事務局一同毎年感謝しております。



イラストにたくさん応募していただき、ありがとうございました。最優秀賞は「いしはらみつきさん」優秀賞「おかもとおうかさん」「しつかわゆなさん」「ふじもときいさん」が選ばれました。おめでとうございます。

国際交流員のダイアナは宇和島市に旅行した思い出の「牛鬼」に仮装し、アンティーは可愛く「ミニーマウス」になっていました。→→→→→

さてどっちの「かおなし」がALTのメーガンでしょう？

正解は。。。

左：風船

右：メーガン





## 推移の術

2011年4月に、私の人生を永遠に変えたメールが届きました。私がジェットプログラムによる外国語指導助手 (ALT) として日本で働くことになったという内容でした。その内容は喜ばしくもあり、また怖気づかせるニュースでした〜ワオーッ！その機会が与えられて、とてもワクワクしましたが、不安に襲われました。私が有能なALTになれるだろうか。カルチャーショックを克服できるだろうか。3月の東北地震の影響はないだろうか。その上、家族と友達から離れなければならないと心配しました。ついに当初の心配を克服し、不安をプラス思考へと変えて、ほかの熱心なジャマイカ人 (14人) と一緒に飛行機に乗りました。

今までの人生とは違った見え方ができる新しい人生のはじまりでした。

早送りして、2015年1月です。素晴らしい経験に溢れているほぼ4年間でALTとして過ごしましたが、人生の岐路に立っていました。ペンを持ち、契約を凝視しながら、快適な給料のあり、安定した仕事をやめるのか美術へ時間を費やすのかを熟慮しました。私は美術に飛び込むことに決めて、その時からフリーイラストレーターとグラフィックデザイナーとして生活してきました。これは私がずっとやりたかったことでしたし、特に妻が私の決意を支えてくれたおかげで、ALTからの推移がスムーズでした。



ジャマイカの美術大学でビジュアルコミュニケーションを専攻し、日本に来る前に2年ぐらい広告会社に勤めていました。ALTとして働いていても、私は練習やコンテスト、ボランティアの仕事などのために、デザインとイラストレーションを描き続けていました。困難なプロジェクトでも、ゼロから独創的に何かを作り上げる時に急に湧きあがる興奮が好きです。切り抜けにくい時があっても、今の人生で満足しています。自分で働く時間を決めるので、作り上げる自由さにも責任感があります。日々の

スケジュールを計画する必要も、気合を入れて仕事するように日課をこなす必要もあります。確かに、山もあり谷もあります。必ずしもマンションの部屋で働くのがいいということでもありません。フリーアーティストとして人生を送るには精神的にも強くなる必要があります。その人生のハードルにまだ直面しています。

普段私は出版社、作家、音楽業界に携わる人々、ベンチャー企業や非営利組織と協力し、芸術作品で彼らの洞察、情熱、夢を概念化したり、視覚化したりします。思い付いたアイデアを表現するために、現在はいくつかの個人的なプロジェクトにも取り組んでいます。芸術を通して、私の経験を他の人と共有できたら嬉しいです。各々の目を通して、みなさんが一人一人どのように解釈するか。つまり、想像を超えるような何かにも加わっていきたく、ほかの人を鼓舞させるような美術を作っていきたいのです。

ローハン・ミッチェル (ダ和訳)

絵は全部ローハン・ミッチェルさんの作品です。



第2話 「山晶、水晶」

西条市の皆さんに届けたい、ベトナムの物語

「地震、雷、火事、おやじ」と

は、日本で昔から最も怖いとされているもののたとえです。自然災害の恐怖といえば「地震」が一位に取り上げられます。ベトナムではそれは台風、暴風雨、洪水などいわゆる「水害」になります。この「水害」の原因についてベトナムに伝わる昔話「山晶、水晶」を一緒に読んでみましょう。

古代のベトナム国の第十八代王様には娘がいました。この美しい王女の噂は遠くまで広がり、求婚してくる男が数多くいました。王様は男たちの才能を試み、婿を選ぶことにしました。そして最後に二人の優秀な男が残りました。一人は山晶（山の神様）といい、もう一人は水晶（水の神様）といいます。二人は王様の前で稀有の才能を演じて、競争しました。山晶が指さすところには、たちどころに山が立ち並びます。それに対して、水晶が指さすところには暴風雨が吹いてきて、水があふれてきます。二人の才能を目撃した王様は「二人の才能はいずれも素晴らしい。しかし、娘は一人しかいない。どちらか先に結納を納めた方を婿とする。」と言いました。翌日、山晶は先に結納を納めに来て、王女と夫婦になりました。水晶は後れて来たため、王女を嫁にできず、怒ってしまいました。水晶は暴風雨を吹き、洪水を起こし、山晶を攻撃しましたが、山晶に勝つことができませんでした。それ以来、二人は天敵となり、今でも水晶は毎年台風や洪水を起こして山晶を攻撃しているのです。この伝説から、どうやら台風や洪水を起こすのは自然の神様であるとわかります。

ところで、ベトナムはインドシナ半島の東部に位置し、南北に細い長い領土で海に面しています。そのためフィリピン沖で発生した台風の直撃を受けやすく、歴史的にも台風・洪水の被害をくり返してきました。2017年の今年だけでも到来した台風の数はなんと14個、死亡者は約170人と報告されました。

しかし、どんなに災害に遭っても、人々は復興に向かって一心に取り組んでいます。これは同じように度々自然の災害を被る日本人とよく似ているところだと思います。私の国ベトナムでも、昔から人々は自然の脅威に対して畏怖の念を抱いて接しています。美しく、多くの恵みをくださる自然の神様に対する畏敬の気持ちです。

第60回産業祭 ワールドカフェ

11月11・12日（土・日）に西条農業高校で開催された産業祭に、国際交流協会からワールドカフェを出展しました。

今年のテーマは“アラブな世界にふれよう”。アラブの居住体験、民族衣装パレード、愛媛大学に留学しているアフリカ人研修生6名が参加してのワークショップなど、たくさんのお客さんで賑わいました。その他、国際交流員アンティーさんによるベトナム揚げ春巻きの販売は、400個が1日で完売するほどの盛況ぶりでした！最後は教室を飛び出し、みんなが輪になってスクエアダンスで“フォー♪”楽しい1日になりました。来年もお楽しみに！



今回参加してくれた  
アフリカ人研修生の皆さん



ベトナム揚げ春巻き、うまそお～！



アラブな世界



みんなでスクエアダンス！

★★★★★★★★★★★★★★★★  
★ DATES WITH DIANA ★  
★★★★★★★★★★★★★★★★



SIEAが発足されての3年、SIEAは国際交流をすすめる会と協力し、西条市民のために国際交流の機会を与えようと頑張っています。私も異文化理解を深めてもらおうと昨年、11月の産業祭でアメリカのスクエアダンスを紹介してみました。すると、愛媛県青年海外協力協会のOV会の会員であり、約20年間スクエアダンスを踊ってきた沖野ミツコさんから連絡を頂き、沖野さんが教えたスクエアダンスのレッスンに参加させて頂きました。それから新たなパートナーシップがうまれました。

沖野さんは約20年前にスクエアダンスを踊っている友達に初級レッスンに誘われ、その時から夢中になりました。松山でスクエアダンスのサークルを作ったり、海外でもスクエアダンスの愛好会の人たちと一緒に踊ったりします。スクエアダンスを好きになった理由は、年齢、国籍、性別、職業を問わず誰でもスクエアダンスを楽しめること、初対面の人々を仲良くさせることがスクエアダンスの特徴だからです。

私もスクエアダンスの魅力に惹かれました。初めてスクエアダンスを知って、踊ってみたのは中学校1年生の時でした。偶然にその年だけ、私の学級がスクエアダンスの発表会を行うことになりました。スクエアダンスを学べば学ぶほど好きになりました。しかし、その時から昨年の産業祭まで、ずっと踊っていませんでした。アメ

リカの田舎地方かアパラチアという文化圏にはスクエアダンスが流行っていますが、出身地のロサンゼルスのような都会にはスクエアダンスを踊る習慣がないので、触れ合う機会があまりなかったのです。

昨年、私は初めての西条祭りのおかげでスクエアダンスの良さを思い出しました。西条祭りで皆が一丸となって熱狂する姿を目の当たりにすると、心の奥が感動に溢れんばかりで、幸せでした。お祭りのように市民たちが一緒に楽しむことがロスには少ないのですが、学級でスクエアダンスを踊った時に、何よりもチームワークが必要だったので、お祭りに参加した時と同じようにコミュニティとの一体感が感じられたのです。

踊りはコミュニケーションの道具の一つであると思います。英語に自信がない人たちもいるので、海外の人とコミュニケーションをとるのが英語だけではなく、様々な方法でできると伝えたかったのです。今年の産業祭には沖野さんのお手伝いと情熱を含めて、スクエアダンスの体験ができ、大勢の人と楽しみました。これから、沖野さんと一緒に国際交流のためにスクエアダンスの機会を増やしたいと思っています。



今では、アメリカだけではなく世界中の色々な国でスクエアダンスがあり、踊りのおかげで国際的なコミュニティも出来上がっているのではないのでしょうか。

## 国際交流 INFO

### 【丹原町国際交流協会】

第18回国際交流スピーチコンテスト◇観覧自由◇

- ◆日時：平成29年12月24日（日）13:00～16:30
- ◆場所：西条市丹原公民館1階ホール
- ◆内容①外国人による日本語スピーチ
  - ②小学生によるスピーチ
  - ③英語スピーチ 中学生の部・高校生の部
  - ④外国語講座受講者による学習成果発表

◆問い合わせ：丹原町国際交流協会

TEL:090-2781-6502 (安藤)

### <第3回国際交流カフェ>

- ◆日時 12月17日（日）13:00～15:00
- ◆場所 丹原公民館

### <第4回国際交流カフェ>

- ◆日時 2月7日（水）18:00～20:00
  - ◆場所 西条産業情報支援センター（SICS）
- いづれも参加費 一般300円 協会員200円

※詳細時間等はHPをチェック!



### 【英語スピーチコンテスト開催】

◆日時：平成30年1月7日（日）13:00～17:00

◆場所：西条図書館2F会議室

前半：新任外国人英語教師(ALT)による日本語スピーチ  
後半：小・中・高校生による英語スピーチ

◆募集方法エントリー募集期間：2017年12月1日～31日

メールで応募 E-mail: toshihisa.ishikawa.r@gmail.com

◆問い合わせ：NPO法人 地方再興個別化医療支援 石川智久  
電話：080-6808-5059

2017年も気づけば残りわずかですね。今年は国際交流スタッフも半分以上がメンバーチェンジし、ばたばたした2017年でした。2018年も助け合い、国際交流を通して文化、人、語学に触れることができる運営を心がけています。よいお年をお過ごし

ください・・・(石)

編集後記

国際交流NEWSスタッフ：

寺岡 祐基 (寺)

石村美歩 (石)

ダイアナ・マリー・リントン (ダ)

グエン・ブイ・アン・ティ (ア)

フルカラーで

読める!

